

Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～



雄武町役場 福祉給付課 保険給付係

いし が き
石垣

いっ せい
一生さん



「知識を増やし、町民の皆さんから頼られる町職員になりたい」と意識込むのは、今年で役職職員として3年目になる遠軽町出身の石垣一生さん。

大学を卒業後、営業会社に就職したが、数字を追いかけるだけではなく、人の役に立ちたいという思いから転職を決意。父が雄武町に住んでいたことがあり、親しみを感じていたそうです。

現在の主な仕事について聞くと「介護保険や後期高齢者医療、国民健康保険などの窓口業務を担当しています。まだまだ覚えることが多いですが、電話や窓口で質問をされて、自分の説明で納得してもらえたときには、仕事に対するやりがいや達成感を感じます」と話してくれました。

「今後も多くの知識を吸収し、どの部署に配属になっても、町民の皆さんに頼られる町職員になれるように日々精進していきます」という強い志しも感じられました。

趣味について聞くと「寺社仏閣巡りが好きです。特に思い出深いのは、鎌倉大仏が補修工事中で、普段は見ることのできない大仏の後頭部の開閉などを拝見できたことです。このようなタイミングで見られたいです」と笑顔で話してくれました。

今後の活躍に期待です。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

❖編集後記

Editor's note

▼ときどき^{わすれゆき}忘雪が降りつつも、確かに春の陽気が感じられる季節となりました。新型コロナウイルス感染症もゴールデンウィークが明けてから従来の2類から5類に引き下げとなり、コロナ禍以前の生活に少しずつ戻ることができそうです。三密のことを意識しつつ、久しぶりに道外に足を運びたいです。（松井）